



Copyright © 2021 NTT DATA INTRAMART CORPORATION

目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
- 3. IM-PDFAutoConverter for Accel Platform 2020 Winter からの変更点
- 4. 機能一覧
- 5. システム要件
- 6. 検証済み環境
- 7. 制限事項
- 8. 保証規程
- 9. 著作権および特記事項

改訂情報

変更年月日	変更内容
-------	------

2021-04-01	初版
------------	----

本書の目的

本書では IM-PDFAutoConverter for Accel Platform のリリース内容について記載されています。

製品の利用対象

次の利用を対象としています。

- IM-PDFAutoConverter for Accel Platform を利用したアプリケーション開発

連携エンジン

PDFコンバータXP

PDFファイルへ変換するために必要なソフトウェアです。

PDFオートコンバータEX

PDF変換を自動化するために必要なソフトウェアです。

スタンドアローン構成と分散構成

本書におけるスタンドアローン構成と分散構成は次の構成を指します。

スタンドアローン構成

intra-mart Accel Platform と同じサーバに連携エンジンを導入する構成です。（IM-PDFAutoConverter for Accel Platform は、分散構成のみサポートしています。）

分散構成

intra-mart Accel Platform とは別のサーバ（PDF変換サーバ）に連携エンジンを導入する構成です。

機能

- 変更された機能はありません。

システム要件

- PDF変換サーバ
 - OpenJDK 11 を追加しました。
 - Amazon Corretto 11 を追加しました。

検証済み環境

- サーバ環境
 - Resin 4.0.64 -> 4.0.65 に変更しました。

制限事項

【追加された制限事項】

- 追加された制限事項はありません。

【変更された制限事項】

- 変更された制限事項はありません。

【削除された制限事項】

- 削除された制限事項はありません。

IM-PDFAutoConverter for Accel Platform

IM-PDFAutoConverter for Accel Platform に含まれる機能の一覧です。

機能	機能概要
PDF変換	様々な形式のファイルをPDFファイルに変換します。この機能はAPIで提供されます。 変換対象のファイル形式については、「 PDF変換のサポートするファイル形式 」を参照してください。



注意

IM-PDFAutoConverter for Accel Platform は[分散構成](#)のみをサポートします。[スタンダードアローン構成](#)はサポートしません。

当バージョンにおけるシステム要件は次の通りです。

サーバ要件

intra-mart Accel Platform

- intra-mart Accel Platform 2021 Spring（Standard Edition、Advanced Edition、Enterprise Edition）
- 利用する intra-mart Accel Platform の [サーバ要件](#) に準じます。

PDF変換サーバ

種別	製品名
オペレーティングシステム	Windows Server 2012 日本語版（64bit）
	Windows Server 2012 R2 日本語版（64bit）
	Windows Server 2016 日本語版（64bit）
	Windows Server 2019 日本語版（64bit）
ハードウェア	各OSの安定稼動が可能となるPC
	（CPU 3GHz以上を推奨）
必要メモリ容量（JVM）	推奨する最小構成 2GB 以上
必要メモリ容量（連携エンジン）	4GB以上
必要ディスク容量（連携エンジン）	次の合計値
	■ 20GB以上 ■ 一時ファイルを作成するために必要な空き容量
JDK	Oracle JDK 8
	Oracle JDK 11
	OpenJDK 11
	Amazon Corretto 11

種別	製品名
Web Application Server	Apache Tomcat 8.0.x
	Apache Tomcat 8.5.x
連携エンジン	PDFオートコンバータEX 4.0.3
	PDFコンバータXP 6.0.2



注意

IM-PDFAutoConverter for Accel Platform は、[分散構成](#)のみサポートしています。

運用には PDF変換サーバ が必要です。

また、PDF変換サーバ を複数台設置することで、負荷分散（ラウンドロビン方式）が可能です。



注意

次のバージョンは必ず正しい組み合わせで運用してください。

異なる組み合わせはサポート対象外です。

- intra-mart Accel Platform のバージョン
- IM-PDFAutoConverter for Accel Platform のバージョン
- 連携エンジン PDFオートコンバータEX のバージョン
- 連携エンジン PDFコンバータXP のバージョン

連携エンジンの詳細なバージョンについては、「[IM-PDFAutoConverter for Accel Platform セットアップガイド](#)」-「[連携エンジンバージョン](#)」を参照してください。



注意

Windows 7 および Windows Server 2008 のサポートは終了しています。

「[PDFオートコンバータEX インストール・ガイド](#)」、または、「[PDFコンバータXP インストール・ガイド](#)」に、

当該製品に関する記述がありますが、当該製品のサポートを示すものではありません。



注意

PDF変換には、変換対象とするファイルに対応したアプリケーションがPDF変換サーバにインストールされている必要があります。

詳細については、「[PDF変換には変換対象とするファイルに対応したアプリケーションが必要です](#)」を参照してください。

ライセンス要件

- PDF変換サーバ 単位でライセンスが必要です。
- IM-PDFAutoConverter for Accel Platform の1ライセンスには、次のライセンスがそれぞれ1ライセンスずつ含まれます。

ライセンス名	概要
PDFオートコンバータEX ライセンス	PDFオートコンバータEX（連携エンジン）を導入するために必要なライセンスです。
PDFコンバータXP ライセ ンス	PDFコンバータXP（連携エンジン）を導入するために必要なライセンスです。

以下、弊社動作検証済みの組み合わせです。

サーバ環境

intra-mart Accel Platform

intra-mart Accel Platform	OS	JDK	Web Application Server
2021 Spring(Bergamot)	Windows Server 2019 日本語版	Oracle JDK 11.0.7	Resin 4.0.65
2021 Spring(Bergamot)	Windows Server 2019 日本語版	Oracle JDK 11.0.7	Payara Server 5.2020.2
2021 Spring(Bergamot)	Red Hat Enterprise Linux 7.7	OpenJDK 11.0.6	Resin 4.0.65
2021 Spring(Bergamot)	Red Hat Enterprise Linux 7.7	OpenJDK 11.0.6	Payara Server 5.2020.2

PDF変換サーバ

OS	JDK	Web Application Server	連携エンジン
Windows Server 2019 日 本語版	Oracle JDK 11.0.7	Tomcat 8.5.54	PDFオートコンバータEX 4.0.3 PDFコンバータXP 6.0.2

全般

IM-PDFAutoConverter for Accel Platform の起動ユーザには管理者権限が必要です

PDF変換サーバ、Apache Tomcat、および、各アプリケーションの起動ユーザに、管理者権限を保有するユーザを設定してください。

PDFオートコンバータEX のインストール時に .NET Framework 3.5 が必要です

PDFオートコンバータEX を PDF変換サーバ にインストールする際には、.NETフレームワーク 3.5 が必要です。

PDF変換には変換対象とするファイルに対応したアプリケーションが必要です

PDF変換には、変換対象とするファイルに対応したアプリケーションが PDF変換サーバ にインストールされている必要があります。

対応アプリケーションについては、「[PDF変換のサポートするファイル形式](#)」を参照してください。



コラム

各製品は最新のパッチを適用してください。



コラム

画像ファイルを変換対象とする場合、対応したアプリケーションのインストールは不要です。



注意

Microsoft Office 製品は、Service Pack 1 以上のインストールが必須です。

また、OSのビット数に対応したアプリケーションをインストールしてください。



注意

クラウド上のサーバに Microsoft Office 製品をインストールすることは、Microsoft社に許諾されない可能性があります。

構築環境にインストール可能かライセンス契約を確認してください。



注意

一太郎 を変換対象とする場合、一太郎ビューア でのPDF変換はできません。

必ず、一太郎 をインストールしてください。

また、一太郎 にはサーバインストールできないバージョンが存在します。必ず、購入前に確認してください。



注意

DocuWorks を変換対象とする場合、DocuWorks Viewer Light でのPDF変換はできません。

必ず、DocuWorks をインストールしてください。



注意

対象アプリケーションをインストールする際は、構築環境にインストール可能かアプリケーションのライセンス契約を確認してください。

長時間の使用でPDF変換の動作が不安定になる場合があります

IM-PDFAutoConverter for Accel Platform が、メモリリークすることはありません。

ただし、変換対象ファイルに対応したアプリケーションを動作させますので、アプリケーション側でメモリリークが発生する可能性があります。

長時間継続してPDF変換を実施する場合は、週1回 PDF変換サーバ の再起動をしてください。

PDF変換はマルチスレッド形式に対応していません

PDF変換はマルチスレッド形式では動作しません。シングルスレッド形式で実行します。

そのため、連続してPDF変換を実行した場合は、順番待ちの状態となります。



コラム

連続してPDF変換を実行する場合、または、大量のPDF変換（およそ200件以上）が想定される場合は、PDF変換処理のタイムアウトや PDF変換サーバ への過負荷が原因で起こる intra-mart Accel Platform のセッションタイムアウトに注意してください。

PDF変換処理のタイムアウトを変更した場合は、intra-mart Accel Platform のセッションタイムアウトの設定も確認してください。

ウイルスソフトがPDF変換を妨げる可能性があります

ウイルスソフトが、PDF変換中のファイルを排他制御することがあります。

そのような場合は、PDF変換の使用エリアをウイルスチェックの対象から外してください。

プロキシサーバを経由してPDF変換を実施することはできません

intra-mart Accel Platform と PDF変換サーバ 間の通信において、プロキシサーバを経由してPDF変換を実施することはできません。

プロキシサーバを設定している環境下では、intra-mart Accel Platform と PDF変換サーバ 間の通信において、プロキシサーバを経由しないよう設定してください。

リモートデスクトップ環境ではPDF変換できません

PDF変換は、リモートデスクトップを利用した環境では正常に動作しません。

リモートデスクトップ環境とは別に PDF変換サーバ を設置してください。



コラム

メンテナンス等の一時的なリモートアクセスであれば問題ありません。

シンククライアント環境ではPDF変換できません

PDF変換は、シンククライアント製品（Citrix XenApp 等）を利用した環境では正常に動作しません。

シンククライアントサーバとは別に PDF変換サーバ を設置してください。

IM-PDFCoordinator for Accel Platform を同一サーバに設置する場合、連携エンジンの環境変数の設定順序に注意してください

IM-PDFAutoConverter for Accel Platform と IM-PDFCoordinator for Accel Platform を同一サーバに設置する場合、インストールしている連携エンジンの環境変数の設定順序に注意してください。

IM-PDFCoordinator for Accel Platform を導入している場合、インストールしている 連携エンジン PDFメイクアップ の環境変数より、 連携エンジン PDFオートコンバータEX の環境変数が後になるよう設定してください。

正しい順序で設定をしていない場合、エラーが発生します。

変換対象ファイル

PDF変換のサポートするファイル形式

PDF変換のサポートする変換対象ファイルの形式とアプリケーションのバージョンは、次の通りです。

製品名	バージョン	ファイル形式
Microsoft Excel	2010、2013、2016、2019	XLS、XLSX
Microsoft Word	2010、2013、2016、2019	DOC、DOCX
Microsoft PowerPoint	2010、2013、2016、2019	PPT、PPTX
一太郎	2016、2017、2018、2019	JTD、JTT
DocuWorks	7.x、8.x、9.x	XDW
テキストファイル	—	TXT
画像ファイル	—	TIFF (G3/G4) 、 JPEG (RGB) 、BMP、GIF、 PNG



注意

Microsoft Office 2003、および、2007 のサポートは終了しています。

「[PDFオートコンバータEX インストール・ガイド](#)」、または、「[PDFコンバータXP インストール・ガイド](#)」に、

当該製品に関する記述がありますが、当該製品のサポートを示すものではありません。



注意

Microsoft Office 製品でマクロを含むファイルは、マクロの内容によってPDF変換できない場合があります。



注意

TIFFファイルは、圧縮方法によってPDF変換できない場合があります。



注意

一太郎 のPDF変換には、次の制限事項があります。

- サービス変換、または、バックグラウンド変換ができないファイルが存在する可能性があります。

その場合は、次のいずれかの対応をしてください。

- 一太郎 にて、ファイルを作成する際にオブジェクトを制限してください。
- 一太郎 にて、ファイルを作成する際にフロント変換（コマンド等）で作成してください。
- PDF変換サーバ にログオンした状態でPDF変換を実施してください。
- Microsoft IMEとATOKがPDF変換の動作に影響を及ぼす場合があります。その場合、一太郎 変換専用のサーバが必要です。
- 変換対象ファイルのPDF変換対応状況は、次の通りです。

ファイルの種類	PDF変換	
	可否	備考
一太郎 のノーマルファイル	○	
一太郎 のみのマルチシートファイル	○	
Microsoft Office 製品等の異なったフォーマットが含まれるマルチシートファイル	△	一太郎 フォーマット部分のみPDF変換します 一太郎 以外のフォーマット部分についてはPDF変換できません
パスワードが付与されたファイル	×	PDF変換のサポート対象外です
差し込みデータが付与されたファイル	×	PDF変換のサポート対象外です
アウトラインファイル	×	アウトラインを使用しない設定に変更してください
一太郎 外字を含むファイル	○	外字のインストールされている環境でのみ表示可能です
オブジェクトを含むファイル	△	サービス変換では正しく変換されない可能性があります

パスワードの設定されているファイルや破損しているファイルはPDF変換できません

サポート対象のファイル形式であっても、次のファイルはサポートしません。

- 破損しているファイル
- パスワード付きのファイル



注意

上記ファイルでPDF変換を実行した場合は、エラーが発生しPDF変換に失敗します。

エラーが発生しない場合でも、タイムアウトし処理を中止します。

Microsoft Excel 形式のファイルは各ページを1ファイルに結合してPDF変換します

ブック内のページ単位でのPDF変換はできません。

PDF変換前に、あらかじめページの削除、または、印刷領域から外してください。

保証内容及び対象

この保証規程（以下、「本書」という。）並びに貴社が当社と締結した一切の契約が定める要件（システム要件を含むがそれに限らない。）

及び制限事項の範囲内にて貴社が本製品を利用することを条件として、当社は貴社に対し、本製品に同封され、

又は当社ホームページ（<http://www.intra-mart.jp/document/library/?product=pdfa>）に掲載されているマニュアルの最新版のとおり本製品が動作することを保証します。

なお、当該保証は、貴社における内部的使用を目的とする限りにおいて適用されるものです。

また、当該保証は、当社の一方的な裁量により、無償で交換若しくは修補、又はかかる本製品の対価として

イントラマートが貴社から受領した金額の返金のいずれかの方法によるものとします。

上記の対応は、正規の当社製品を購入され、適法かつ誤りなくユーザ登録を完了されたお客様のみに当社が行うもので、当社はその他の対応又は保証、特に本製品をインストールしたハードウェア、接続製品、及びそれらに保存されたソフトウェア、データ等の保証（但し、これらに限られない。）は一切行いません。

保証の適用除外

下記の場合は動作保証が適用されません。

- 貴社が、本書又は貴社が当社と締結した一切の契約に定める要件（システム要件を含むがそれに限らない。）
その他の制限事項の定める範囲内にて本製品を利用しなかった場合
- 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害等の外部的事由による誤動作の場合
- 合理的な使用方法に反するご利用に起因する場合
- 貴社あるいは第三者が改変・変更等及びそれらの作業を行ったことに起因する場合
- 本製品以外のソフトウェア、ハードウェア等との互換性の問題から生じる場合

免責

本製品に関する当社の損害賠償責任は、理由のいかんを問わず、本製品の「ソフトウェア使用許諾契約書」に定める責任の限定の範囲内といたします。

その他の契約との関係

本製品の保証に関して、貴社が当社と締結した一切の契約と本書の間に齟齬がある場合には、本書の記

著作権および特記事項

intra-mart は株式会社 NTT データ イントラマートの登録商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

他の会社名、製品名およびサービス名などはそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本製品を使用する場合は、本製品に含まれる各ソフトウェアのライセンスについても同意したものとします。

以上